

～「新たな教育スタイル」の確立に向けて～



世界の状況 予測困難な時代

国際情勢、少子高齢化に加え、
DXの爆速的進化により、
社会経済の不確実性が増大



持続可能な未来を築くため、
新たな価値や解決策を
創造できる人材の育成が必要

子供を取り巻く環境 デジタル技術の進化

AIやロボット、IoTなどの技術が
日常生活に定着し、教育においても
使用される世の中が到来



あらゆる人や知識や技術に
いつでも・どこでもアクセスが可能

社会の変化に柔軟に対応し、**これからの時代を生き抜く力を身に付けた人材**
の育成が教育の役割

未来の東京に生きる子供の姿

予測困難な時代を生き抜き、「一人一人が多様な幸せ (well-being) を実現できる社会」
を目指して、力を身に付ける必要がある

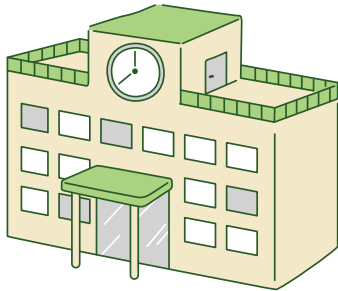


- ✓ 自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を乗り越えていくことができる。
- ✓ 他者への共感や思いやりを持つとともに、共生社会の実現に寄与することができる。

都立高校に求められる役割

- 中学校卒業後の進学率は約99%に達しており、高等学校は、大学等への進学や職業選択など、**実社会との接続機能**を果たしている。
- 高等学校では、**学校や教科書で学ぶ体系的な学問領域に縛られず**、社会生活や体験、興味関心等から、生徒が自由に学びを深めることが求められている。
- スマートフォンなどの**デジタル端末で、興味関心に応じて多くの情報**を得られる時代となり、生徒の学ぶ選択肢・領域の拡大に対応していくことが求められている。

これまで



特色ある学校を設置して
興味関心に応えてきた

学校レベルから
個人レベルへ

これから



全ての学校で**一人一人の
生徒の興味関心に対応**

学びの在り方そのものを見直し、
一人一人の興味関心や適性に合わせた教育への変革が必要

今後の学校の目指す姿

これまでの学校のスタイルに加えて、学ぶ場所・時間、学ぶ人、学び方などの観点で、
学びの選択肢を増やしていくことが必要

学校の目指す姿 (常にアップデート)

これまでの学校

これからの学校

場所・時間

学校・教室が学びの中心
時間割に則った時間



学校内外 (外部
機関、オンライン)、
いつでも学べる

指導者・学習内容

教員 (免許有) 中心
教科書 (学習指導要領)



専門家、企業人を
ロールモデルとして、
社会課題の探究や
新たな価値・解決策
を学ぶ

学習成果・評価

履修 (時間を費やし)



生徒作成の成果物
(研究論文やコンテ
スト等) を評価

学び方

教員の一斉指導



生徒がそれぞれの
知識や興味に応じて
主体的に学ぶ

「次世代の学びの基盤プロジェクト」

三位一体の改革により、東京における学びの基盤を構築

DX

デジタルとリアルの最適な組み合わせ

制度

学習内容や方法、単位の認定等の柔軟な運用

教員・組織

教員の役割や組織のあり方の改善



自立した学習者の育成

知識や思考力、創造性、社会性などとともに、生涯に渡り、
持続的に学び続ける力、自分で選択し決定する力を身に付ける

「次世代の学びの基盤プロジェクト」を都立高校から展開

都立高校を「新しい学びの場」へ進化

「新しい学びの場」では、具体的には、
以下の3つの新しい取組を実施していく



- 1 「デジタル」と「リアル」を組み合わせた学び
(個別最適な学び・協働的な学びを通じて主体的に学ぶ姿勢を育成)
- 2 教員が生徒の学びを伴走
- 3 LMSの活用により、
多様な学び方を実現し、教育効果を高める

※LMS(Learning Management System)

学習状況を可視化して管理する学習管理システム、教員・生徒等を結ぶインタラクティブシステム

① デジタルとリアルを組み合わせた学び

デジタルの教育



デジタル教材やアプリ・ソフトなどを活用し、
生徒が課題や学習方法等を自己決定する過程を通じて、
自主的に学ぶ力を獲得



いつでも・どこでも、興味関心に応じた
学習に取り組める遠隔授業で、
生徒一人一人の特性に応じた学習機会を充実

デジタルの教育の例

	オンライン授業	オンデマンド授業
特徴	同時双方向型	一方向型（録画動画）
メリット	意見交換・質問可能	繰り返し視聴可能

DIGITAL  REAL

メリットを活かし、
各生徒の個性に対応し、
リアルな教育へ繋げる

① デジタルとリアルを組み合わせさせた学び

リアルの教育



集団的な活動では、生徒は集団内の
様々な人間関係の調整や集団で行動することで
連帯感・達成感、協調性や社会性を体得



探究学習では、未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力等」、
「学びに向かう力・人間性等」が身に付く

デジタルを活用したリアルの教育の例

DIGITAL

デジタルの活用



REAL

リアルの教育をより一層充実

(探究学習に生成AIを活用する場合)

- ① 生徒の興味関心に応じた課題設定の中で、
アイデアの創出を促進
- ② デジタル技術の限界や安全性を踏まえて、
正しい情報を見極め、情報の整理や分析を効率化
- ③ 仮説や考察した内容を共有・議論し、より深い学びを実現

① デジタルとリアルを組み合わせた学び

デジタルとリアルを最適に組み合わせ、広がる新たな学び

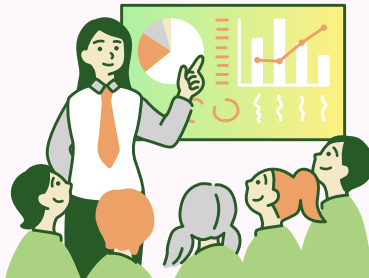
INPUT



OUTPUT

REAL

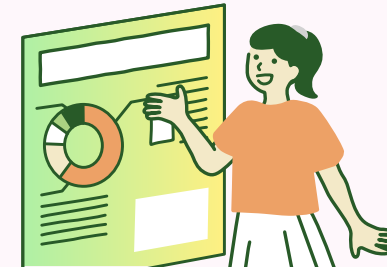
一斉授業



協働的なゼミ授業



発表型授業



DIGITAL



個々に応じた
デジタル教材を
活用した学習



ネットワークを
活用した
グループワーク



専門家と
オンラインで議論

より先端的な学びへの変革を支援していく

① デジタルとリアルを組み合わせた学び

生徒の興味関心や場面に応じて、デジタルとリアルを最適に組み合わせ、
「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、
更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど両者を一体的に充実

個別最適な
学び

一体的な
充実

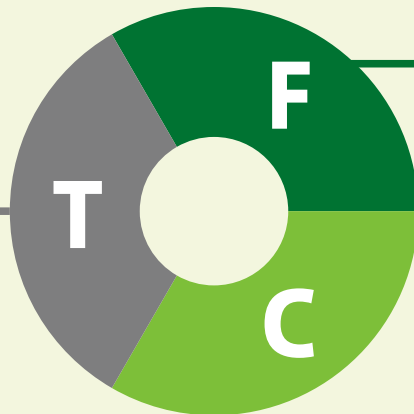
協働的な
学び

- ✓ 生徒は自己の興味関心等に応じたデジタル教材を使い、課題に取り組み、主体的に最適な学習を進める
- ✓ 教員は生徒の特性や学習進度に応じ、LMSを活用し、指導方法等を柔軟化し、主体的な学習を促す

- ✓ 生徒はオンラインも含め、他者との協働を通じて、あらゆる他者を尊重する姿勢を育む
- ✓ 生徒や教員等の人間同士のリアルな関係が
お互いの感性や考え方を刺激し合う

② 教員が生徒の学びを伴走

教員が発揮すべき能力



ティーチング

Teaching

知識や技能を
生徒に分かりやすく
教えること



コーチング

Coaching

個々の生徒が
目標を達成するために
支援すること

ファシリテーション

Facilitation

協働的な学習を
促進すること

教員が、生徒一人一人の状況や活動に応じて、
ティーチング、コーチング、ファシリテーションを
意図的に、使い分けていくことが必要

② 教員が生徒の学びを伴走

教員は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら、
生徒の主体的に学ぶ姿勢を育成することが必要

教員の伴走による生徒の変化のイメージ

Facilitation

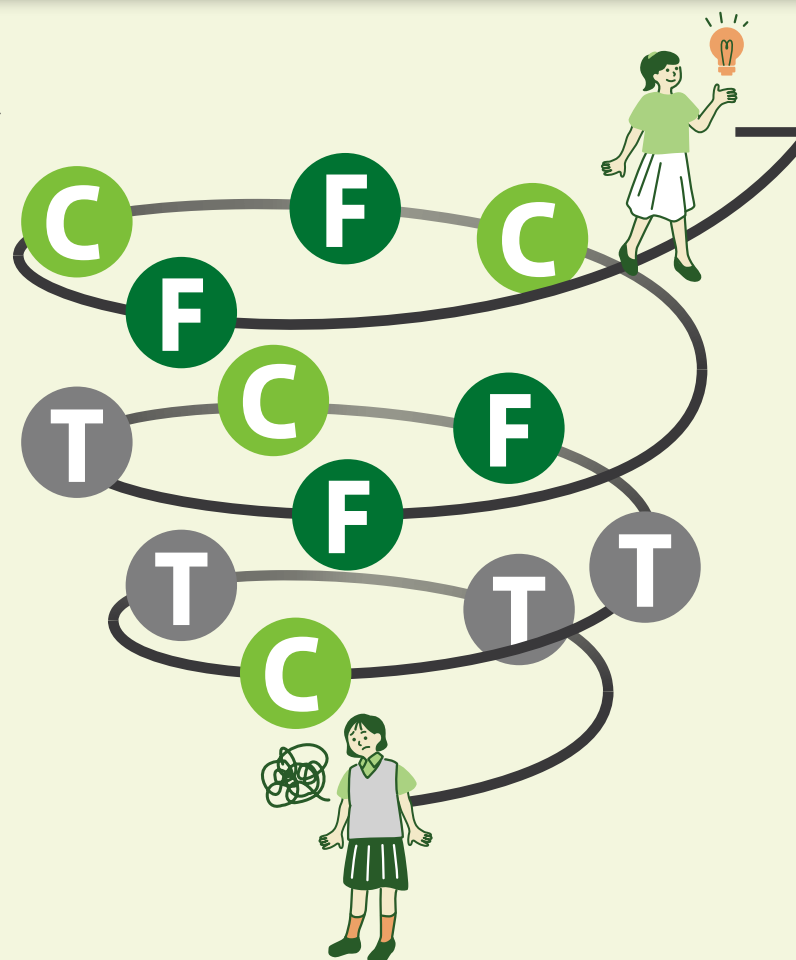
他者との効果的な
コミュニケーションを構築できる

Coaching

学びのプロセスを決定できる

Teaching

知識や技能を習得できる



主体的に学ぶ姿勢を育成

*生徒の状況に応じて学びのスパイラルアップや
教員の伴走の仕方はさまざま

③ 多様な学び方を実現し、教育効果を高める

学習履歴を可視化して、生徒や教員が対話しながら、**学びの意欲を向上させつつ、いつでも・どこでも学習できるシステムを導入し、学びや伴走の効果を高めていく**

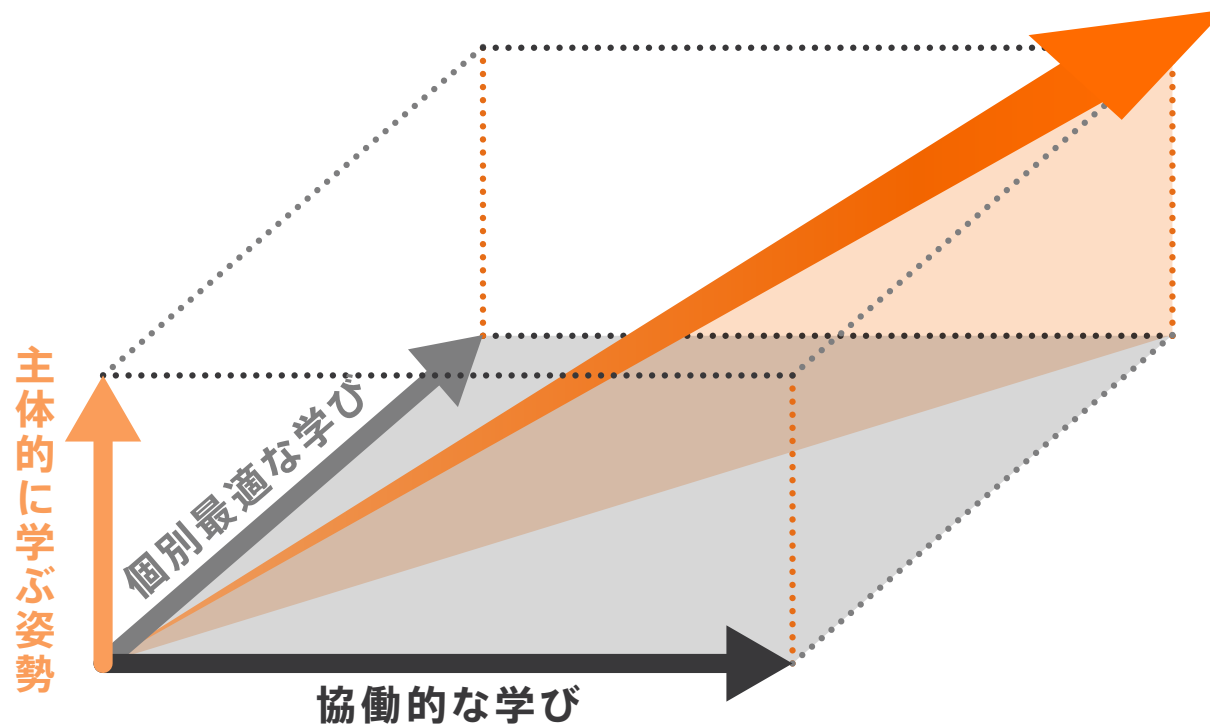
デジタルによる学習管理システムの導入



LMSの 機能(例)

- ① 学習履歴 (スタディ・ログ) ・データの蓄積・利活用
セルフ学習マネジメント
デジタル教材・AIドリルで予習・復習
新分野のデジタル教材の導入 など
- ② 生徒と教員がデジタルでコミュニケーション

「新しい学びの場」で育成する人材



自立した学習者の
育成



知識や思考力
創造性、社会性など
＋
主体的に学ぶ姿勢

効果を
最大化

- ✓ デジタルとリアルの最適な組み合わせ
- ✓ 教員が生徒の学びを伴走
- ✓ LMSの活用により多様な学び方を実現

「新しい学びの場」の段階的な形成

- 生徒一人一人の最適な学びを実現するため、**デジタルとリアルを組み合わせた学習者中心の柔軟な教育システムの構築を目指した各種の取組を試行**
- 今後、生徒や保護者に正確な理解を広げていくとともに、**モデル校の状況等を把握**し、今年度中に「中間の取りまとめ」を行う

令和7年度の取組

- | | | |
|---|------------------|---|
| 1 | 新分野のデジタル教材開発 | 生成 AI を正しく理解し、使いこなすプログラム、アントレプレナーシップを育むことができるプログラム など |
| 2 | デジタル教科書の導入・活用 | デジタル教科書を導入し、授業方法などのモデルを6校で研究 |
| 3 | 学びの成果の可視化 LMS | 個々の生徒の学習状況を可視化し、教員・生徒等を結ぶ双方向・対話型システムを試行導入 |
| 4 | 新たな教育のスタイルの研究指定校 | 校内別室指導推進事業実施校のうち6校において、オンデマンド教材等による単位認定を検討 |
| 5 | 新たな教育のスタイルのPR | 都立高校 EXPO 等の場を活用し、動画等の視覚情報により都立高校の魅力を発信 |

本構想を速やかに全校で共有し、令和8年度以降、各校の特色に応じて展開

「新しい学びの場」への進化に向けた 不断の改革を行います

今後も、生徒や保護者、学校、地域、専門家の意見も取り入れながら
実現までに多くのモデルを実践し、
「新しい学びの場」への進化を目指していく

